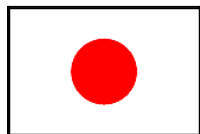


～豊橋市の新たなパートナーシティ～



リトアニア・パネヴェジス市



豊橋市とリトアニア共和国の関係

豊かな自然をほこる「森と湖の国」リトアニア共和国。
豊橋市は2005年の愛・地球博のフレンドシップ事業を
きっかけに、市民を中心とした交流を継続し、2016年
6月に東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン
として登録されました。また、2019年6月にはパネ
ヴェジス市とパートナーシティ協定を締結し、本市の
パートナーシティとしては、4つ目の都市となりました。



リトアニア共和国について

【概要】

- 正式名称「リトアニア共和国 (Republic of Lithuania)」
- 人口 291.6万人 (2015年3月：リトアニア統計局)
- 面積 6.5万平方キロメートル (九州と四国を合わせた程度)
- 首都 ヴィリニウス (人口約54万人, 2014年：リトアニア統計局)



ヴィリニウス市街



メルヘンなトラカイ城

【森と湖の国】

リトアニア共和国はバルト海の南東側に位置する、バルト三国の中で最も大きな国です。国土の98%が農地と森林に覆われており、大小合わせ約4,000の湖を有する「森と湖の国」として知られています。国土は平坦で川が多く、最も高い山でも標高300m以下です。「小さなローマ」とも呼ばれるほど美しい首都、ヴィリニウスの旧市街には数多くの教会が集まり、北部に位置するまち、シャウレイの北12キロにはリトアニア最大の巡礼地「十字架の丘」があります。

【リトアニアで有名な日本人】

皆さんは「杉原千畝」という名前を聞いたことがありますか？第二次世界大戦中のリトアニア、カウナス領事館に赴任していた千畝は、ナチスの迫害によりポーランド等欧州各地からリトアニアに逃れてきた難民に対し、1940年7月から8月にかけて外務省からの訓令に反し大量のビザ（通過査証）を発給し、およそ6,000人にのぼる避難民を救ったことで知られています。「命のビザ」を発給し、多くの命を救った彼は、「東洋のシンドラ」と呼ばれています。

【リトアニアリネンやおいしい料理】

リトアニアは良質なリネンの生産地としても知られています。速乾吸収性に優れたうえ丈夫なリトアニアリネンを使った布製品は、日本でも人気を博しています。他にも、ビーツで作った赤いスープ「シャルティバルシチエイ」、ジャガイモの団子「ツェペリナイ」、ミートパイ「キビナイ」などおいしいものがたくさんあります。



赤い!?ビーツのスープ

パネヴェジス市について

【概要】

○人口 約 10 万人（豊橋は約 38 万人）

○面積 約 50 km²（豊橋は約 262 km²）

○位置 リトアニア共和国の中心に位置し、バルト地域の2つの首都ヴィリニユス（リトアニア共和国の首都）とリガ（ラトビア共和国の首都）の中間にある。その地理的優位性から、他のリトアニアの都市を結ぶ重要な役割を果たしているほか、バルチカ高速道路がスカンジナビア半島や西ヨーロッパともつながっている。

○経済・産業

3,000 余りの会社が拠点を置き、自動車及びオートバイの卸売業、小売業、修理業が最も多くを占めている。パネヴェジス市への外国からの投資は増えており、ノルウェーの工業団地は、リトアニアで唯一、パネヴェジス市にある。

○施設・観光資源

ライスヴェス広場（市の名まえの由来となるネヴェジス川の旧河川敷）、人形劇場、アートギャラリー、ガラス工房や CIDO アリーナ（スポーツ競技、イベント等に使用され、インナーサークルが設けられているのが特徴）など、多くの見どころがある。



伝統的なライ麦パンのたね



焼きあがったライ麦パン



パネヴェジス市役所の前で



近代的な CIDO アリーナ



ノスタルジックな人形劇場

パネヴェジス市との交流がはじまっています



協定締結の様子

パネヴェジス市は、豊橋市よりも小さなまちですが広大な農地、豊かな自然と伝統的な文化、近代的で大規模なアリーナや、カウナス工科大学のロボット学部があるなど、本市との共通性を感じることができる、素晴らしいまちです。

夏の間は白夜となり、夜 10 時を過ぎても明るく、そんな時間でもまちなかを散策する人びと

が多く見られ、時間の感覚を忘れてしまいそうになります。

2019 年 6 月には豊橋市からパネヴェジス市へ友好訪問団と市民訪問団を派遣しパートナーシティ協定を締結しました。今後も、相互互惠の原則に立ち、様々な交流を継続していきます。また、同年 10 月には早速、本市の中学生 23 名を派遣し、パネヴェジス市の中学生たちとの交流を行いました。こうした交流を通して、異文化に対する国際理解が進むことで、多様性を生かした地域の国際化を一層進めていきます。



市民訪問団による歌の披露



中学生交流の様子

豊橋市役所 市民協創部 多文化共生・国際課

電話：0532-51-2023 e-mail：kyoseikokusai@city.toyohashi.lg.jp